

スタートアップに係る日本が置かれている現状 及び基金事業への期待と展望

この国の未来のために・孫子の世代に美田を残す

窪田 規一

株式会社ケイエスピー 代表取締役社長
大学発新産業創出基金事業ガバニングボード 委員長

世界のユニコーン企業数 (Deeptech分野)

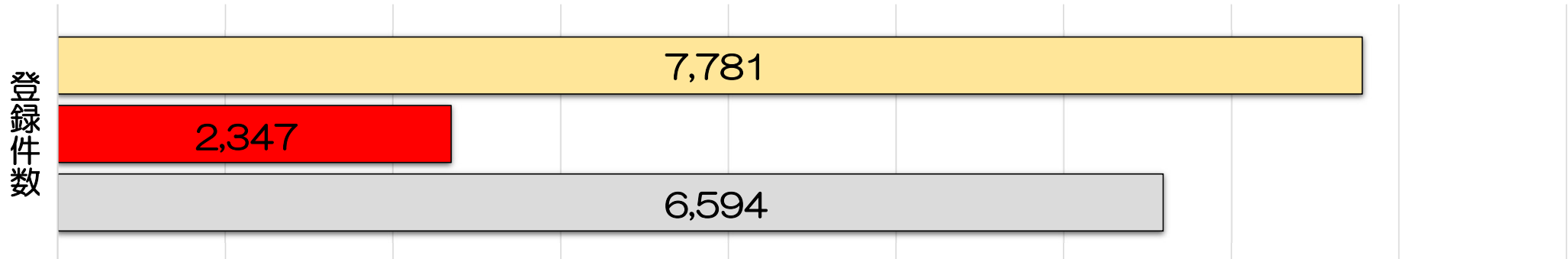


(Pitch Bookを基に内閣府作成)

特許登録件数・ライセンス収入の日米比較

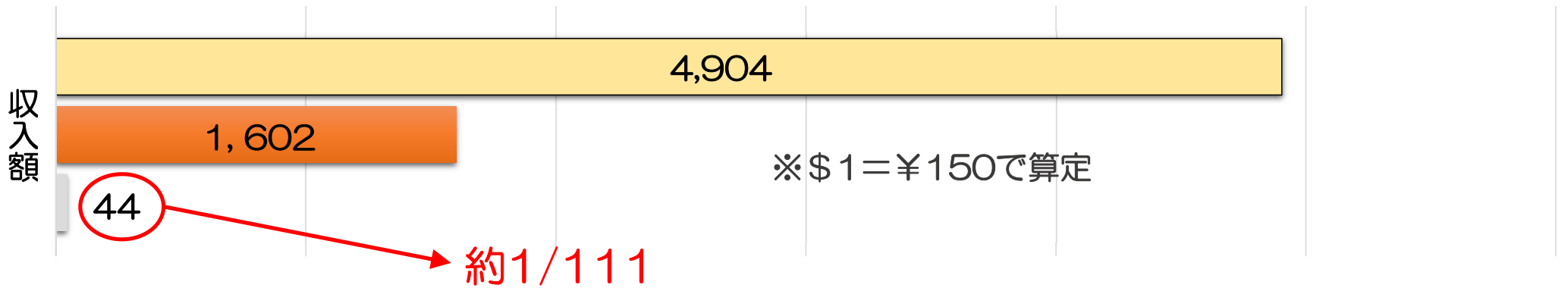
(特許登録件数：件)

■ 米国大学合計 ■ 米国上位10校 ■ 国内大学合計



(ライセンス収入額：億円)

■ 米国大学合計 ■ 米国上位10校 ■ 国内大学合計



(国内データはUNITT、米国データはAUTMより内閣府作成)

知財に関する投資効率の日米比較

(特許1件に対する研究費)

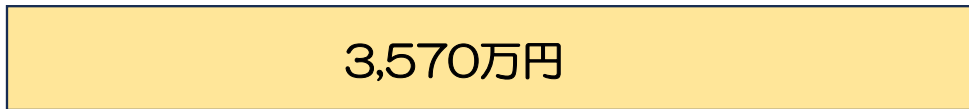
研究費 ÷ 特許登録件数



■ 米国

■ 日本

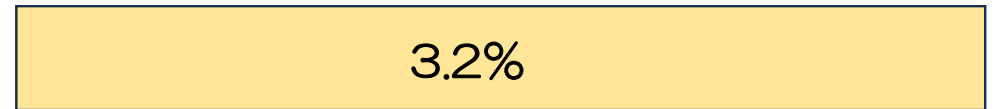
(特許1件当たりの収入額)
ライセンス収入 ÷ 特許登録件数



■ 120万円

(約 30倍)

(研究費に対する収益性)
ライセンス収入 ÷ 研究費



■ 0.1%

(約 26倍)

(国内データはUNITT、米国データはAUTMより内閣府作成)

日本のスタートアップに足りないこと

ヒト（人材）

モノ（知財）

カネ（資金）

事業化を考える人材の不足
CxOに資する人材の不足

特許の知財化戦略の不足
知財活用アイデアの不足

シード時資金提供の不足
継続的な支援環境の不足

早期における人材の育成
OJTが可能になる環境設定

知財化の全面的支援
知財戦略を前提にした特許化

使い勝手の良い資金提供
断絶しない継続性のある支援

大学発新産業創出基金事業の主な構造

大学発新産業創出基金

(2023年3月末造成)

スタートアップ・エコシステム共創
プログラム【スタエコ】

ディープテック・スタートアップ国際展開
プログラム【D-Global】

地域別に企画・計画・実行

研究者

【共同代表者として応募】

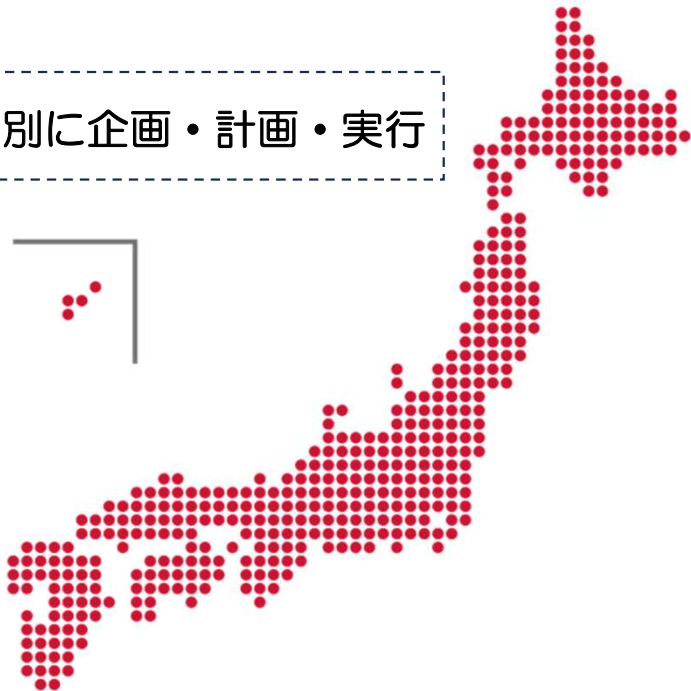
事業化
推進機関

VC、インキュベーター、
アクセラレーター他、分
野にとらわれず参加可能

経営者候補
(CxO)

【採択一年以内に
CEO候補が参加】

成功す
る創業



今回の基金事業が目指す姿

スタートアップ・エコシステム共創プログラム

全国各地域において大学が中心となってスタートアップを創出できる環境の整備を行う。各地域独自の企画にて活動しているが、将来的には全国の情報の一元化、活動の連携を目指す。

ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム

社会実装を前提として技術＋ビジネスプランを同時並行にて作成できるスタートアップを創出する。達成目標は創出されたスタートアップの数ではなくロールモデルとなる成功スタートアップの創出。

今回の基金事業への期待

ヒト（人材）

モノ（知財）

カネ（資金）

研究者・事業化推進機関・経営候補者の三位一体推進体制構築

事業化に結び付く戦略的知財活用を可能にする支援体制の構築

原則や過去歴に囚われない柔軟かつ継続的な資金支援の実施

情報 + スピード

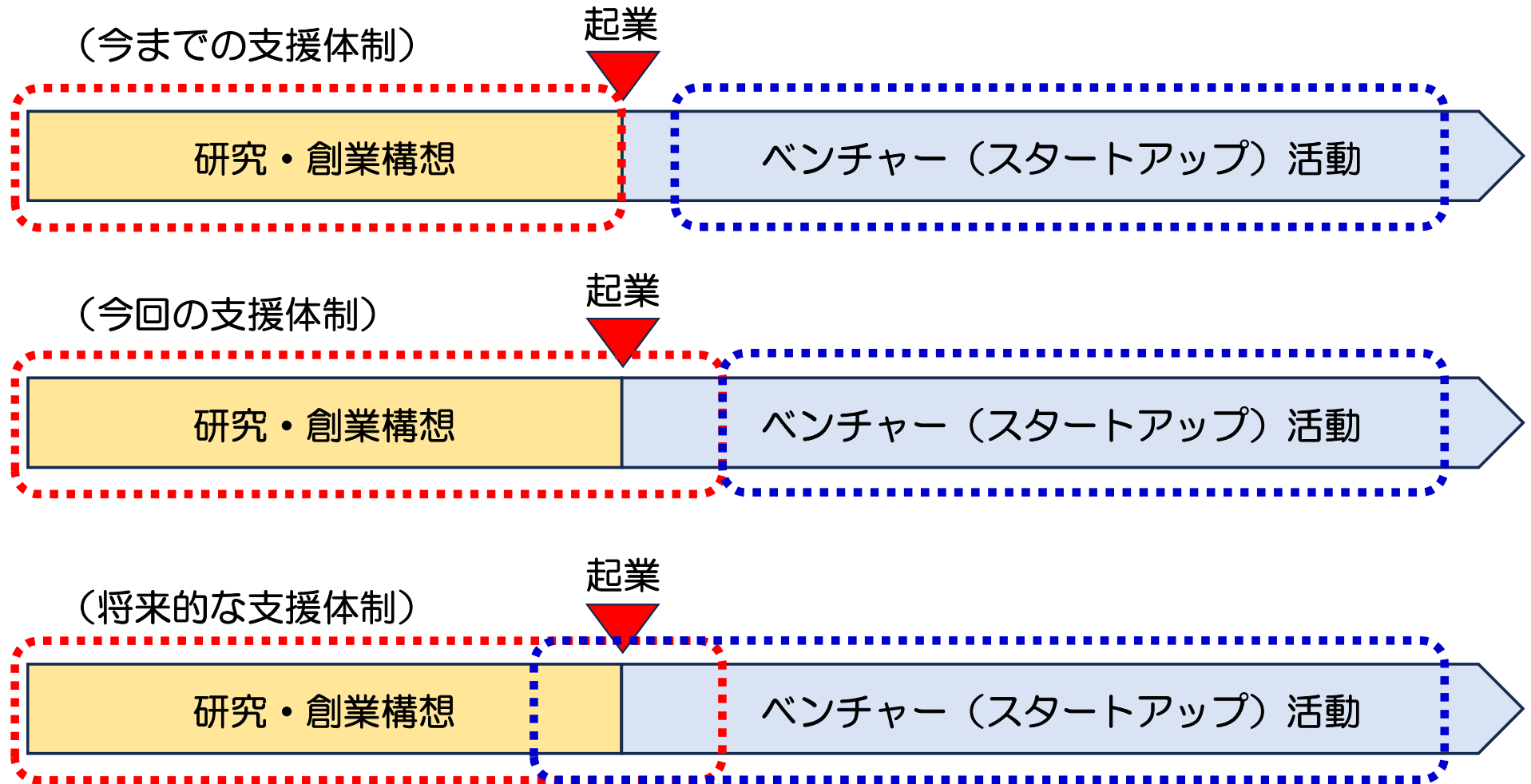
事業化アイデア

事業計画

ビジネスモデル

事業戦略・活動

今回の基金事業への展望



今回の基金事業への期待と展望

ITベンチャー・イノベーションの聖地
サンフランシスコ・シリコンバレー

バイオ・イノベーションの聖地
ボストン・ケンズールスクエア

米国の環境を憧れるのはやめましょう

日本にあった育成環境を創出させましょう

そのスタート・アップ（創出）が今回の基金だと確信しています！